

様式第6号（第14条関係）

会議録

会 議 名	令和3年度 第2回 粕屋町国民健康保険事業の運営に関する協議会
開 催 日 時	令和3年12月20日(月) 19時00分～19時55分
開 催 場 所	粕屋町役場 2階 大会議室
出席者氏名	公 益 代 表 木村 優子 因 悦子 安川 喜代昭 保 険 医 代 表 中村 幹夫 大町 浩二 被 保 険 者 代 表 清水 一成 御手洗 慶子
	住 民 福 祉 部 長 中小原 浩臣 総 合 窓 口 課 長 渋田 香奈子 国 保 年 金 係 主 幹 持丸 陽子 後 期 高 齢 者 医 療 主 幹 永田 優子 国 保 年 金 係 稲永 亮
欠 席 者 氏 名	箱田 博之 安松 久俊
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開
会 議 を 公 開 し な い 理 由	
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料 の 名 称	令和3年度 第2回 粕屋町国民健康保険事業の運営に関する協議会議案書

【会議の内容】

- 1 町長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

議案第1号 令和4年度粕屋町国民健康保険被保険者に係る所得割率、均等割額及び平等割額について

事務局より説明

- ・令和4年度国保事業費納付金等の仮算定結果
- ・令和3年度の粕屋地区の保険税率の状況
- ・標準保険料率の算定に関する県の基準
- ・令和3年度決算見込について
- ・令和4年度予算見込について
- ・仮算定結果による事業費納付金と保険税について
- ・諮問事項に関する事務局案の提示

保険料収納必要額と赤字解消予定額が収納できる案として、標準保険料率と差が大きい医療分と支援分を中心に引き上げ、所得割率は標準保険料を上回る率で設定し、均等割額、平等割額を標準保険料率に近づける方向で案を作成する。

- ・赤字削減・解消計画の状況
- ・標準保険料率による保険税収納額の試算結果について

主な質疑は以下のとおりです。

(委員)

県の基準が賦課方式は3方式となっているが、2方式のところもあり、標準に合わせず、選択も認められているのか。何年後には統一になるという話があるのか。

(事務局)

将来的には県で統一した保険料を目指すことにはなっているが、いつまでと具体的に決まっているわけではない。賦課方式については、4方式から3方式に変更しているところもあり、統一に向けて徐々に進んでいるところもあるが、今後も県と市町村の協議を行いながら、どのようにするか決定していくことになる。

(委員)

粕屋地区の状況で標準保険税率に近いかそれ以上の町は収支は均等になっているのか。赤字は出ているのか。累積赤字はどうか。

(事務局)

令和2年度に引き上げをされており、黒字の状況。ほかのところも一般会計から繰入れをしたりして赤字を大きくしているところはないように思う。理論上は標準保険税率に設定すれば、それまでの大きな赤字が無い限りは、普通は黒字になるはず。

(委員)

医療費が増加する根拠というのは、コロナの影響で減っていた令和2年3年ではなく、令和元年と比べてさらに医療費が増えるだろうということか。一人あたり医療費が増えるということか。要因としては、コロナの影響ではなく、高齢化によるものか。

(事務局)

令和4年度はコロナの影響を加味せず、コロナ前の医療費の増加傾向でみている。今年度の医療費も昨年度より毎月1千万円くらい多い状況で、コロナによる受診控えの影響はなく、通常の状態に戻ってきている。高齢者の割合が大きくなっていることで、医療費が増えており、医療費の増加傾向はこれまでと変わらない。

(会長)

ずっと言われ続けている加入者の減少だが、今回はどのくらいの減少でみているのか。

(事務局)

後期高齢者医療のほうに移行される方が多く、200人くらい減少するのではないかと見込んでいる。被保険者が7,100人くらいになるのではないか。

(会長)

今回は仮算定の説明で、次回来年に本算定を踏まえて、検討していくということで、年内に状況をお伝えしお考えいただくということで今回お集まりいただいた。次回の時までには検討していただければ。別紙の資料をごゆっくりご覧になって考えていただければと思う。今日は採決の必要はないため、他に質問が無ければこれで議事を終了とする。

(事務局)

ご審議ありがとうございました。事務局が作っているような方向で、本算定でまた案を作らせていただいてよろしいか。(皆さん同意) 次回の日程を確認し閉会